

白石 凜

皆さんには、友達がありますか。友達とは何か、一緒に考えてみませんか。

皆さんは幼い頃、ヒーローや勇者が主人公の物語を一度は見たことがあるでしょう。ヒーローは悪者を倒して、困っている人を助けます。そんなヒーローは実在するのでしょうか。

私たち中学生の中には、陰でこそこそと悪口を言ったり、いじめをしたり、相手の心を踏み潰そうとする人がいます。このような行為は本当にずるいことだと思います。いじめをする人は心が病んでいるのです。周囲の人の心を傷つけるのは、自分の心の何かが足りていないからです。実はかわいそうな人なのです。

いじめる人は独りよがりな狭い視点からしか相手を見ていません。だから、様々な角度から相手を見つめ、相手の長所を探す努力が必要です。誰かをいじめる人は、視野が狭いだけなのです。

いじめる人にとって必要なのは、本当の友達です。本当の友達だったら、自分を犠牲にしても、間違いを指摘し、いじめを止めてくれるはずです。友達とは、いじめられる人と同じ痛みを感じ、寄り添い、力になろうと本気で考えられる人です。

誰かを全力で守る本当の友達は、「ゆうしゃ」に見えませんか。友達は「勇者」であり、「優者」です。最高の頼れるヒーローなのです。

「友達」とは、「ヒーロー」です。あなたは、あなたの「ヒーロー」にもう出会いましたか。